

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 30日

岩手県知事 達増拓也 殿

提出者

住 所 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字大館19-1

氏 名 県北緑化㈱・長沢産業㈱特定共同企業体

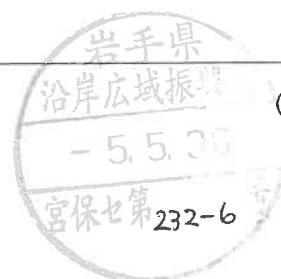
代表者 県北緑化株式会社 代表取締役 昆野裕治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0194-22-5693

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	県北緑化㈱・長沢産業㈱特定共同企業体 代表者 県北緑化株式会社 代表取締役 昆野裕治
事業場の所在地	岩手県下閉伊郡岩泉町褒野地内
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	工事請負金額 26億円
③ 従業員数	26名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類(コンクリート殻、アスファルト殻)→委託処分(再生利用) 木くず(根・枝)→委託処分(再生利用) 繊維くず→委託中間処理(破碎・選別)→焼却処分(熱回収) 廃プラスチック類→委託中間処理(破碎・選別)→委託処分(再生利用) 廃プラスチック類→委託中間処理(焼却)→委託最終処分(埋立)

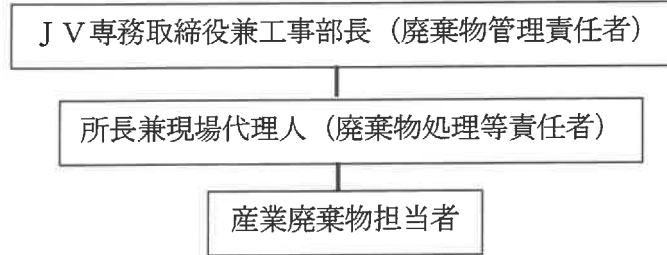


(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	排 出 量	2,070.9 t	632.89 t
	(これまでに実施した取組) 岩手県発注の二級河川小本川筋宮本地区ほか河川激甚災害対策特別緊急（築堤工）工事（台風第10号）で、多量のがれき類、木くず、廃プラスチック類等が発生した。 コンクリート殻、アスファルト殻は、委託業者により破砕処理され再生利用されている。木くずは委託業者により破砕処理され再生利用されている。廃プラスチック類は焼却・破砕・選別され再生利用又は最終処分（埋立）されている。繊維くずは委託業者により破砕・選別され、焼却処分されている。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	排 出 量	3,000 t	500 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、工事を進めていく中、構造物取壊しによるコンクリート殻、台風第10号の影響による木くず、廃プラスチック類が発生する予定である。 コンクリート殻は委託業者により再生砕石として利用され、木くずは委託業者により破砕処理され再生利用される。廃プラスチック類は焼却・破砕・選別され再生利用又は最終処分（埋立）される。繊維くずは委託業者により破砕・選別され、焼却処分される。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 →コンクリート殻（有筋）、コンクリート殻（無筋）、アスファルト殻と分別し、それぞれ破砕処理により再利用される 木くず →破砕処理により再生利用される 繊維くず →破砕・選別処理により焼却処分（熱回収）される 廃プラスチック類→破砕・選別処理により再生利用される 廃プラスチック類→焼却処理により最終処分（埋立）される
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も同じである。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用する予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら中間処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	全 処 理 委 託 量	2, 070. 9 t	632. 89 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	2, 070. 9 t	611. 22 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	21. 67 t
	(これまでに実施した取組) がれき類、木くず、廃プラスチック類については、再生利用業者へ処理委託している。 繊維くずについては、委託業者へ焼却処分（熱回収）している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず他
	全 処 理 委 託 量	3,000 t	500 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,000 t	500 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用業者へ継続する。		
※事務処理欄			

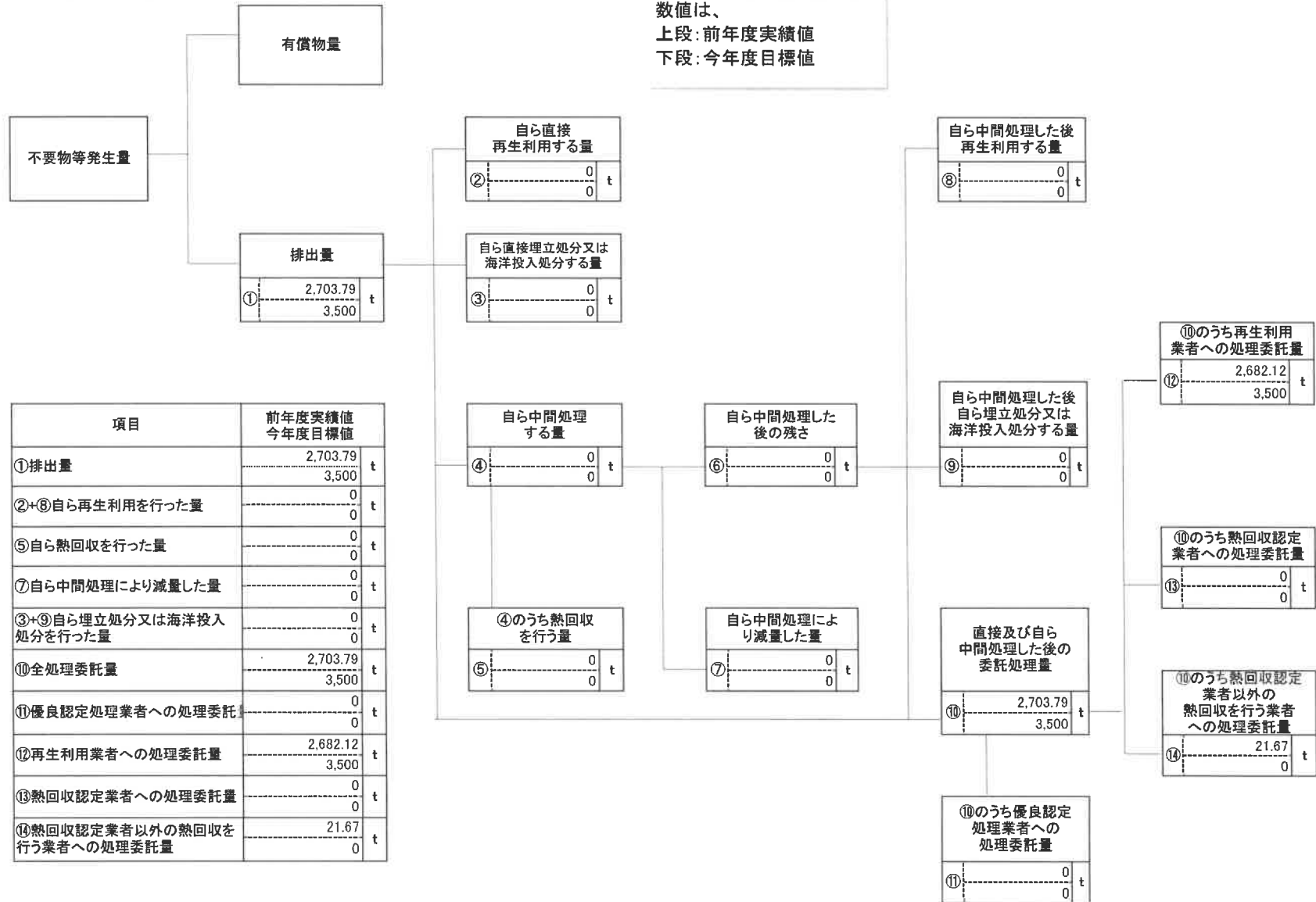
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 合計)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用する量

②	0	t
	0	

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

自ら中間処理した後
再生利用する量

8	0
	0

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	2,070.90	t
	3,000	

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0	t
	0	

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨	0
	0

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

10	2,070.90
----	----------

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	0
---	---

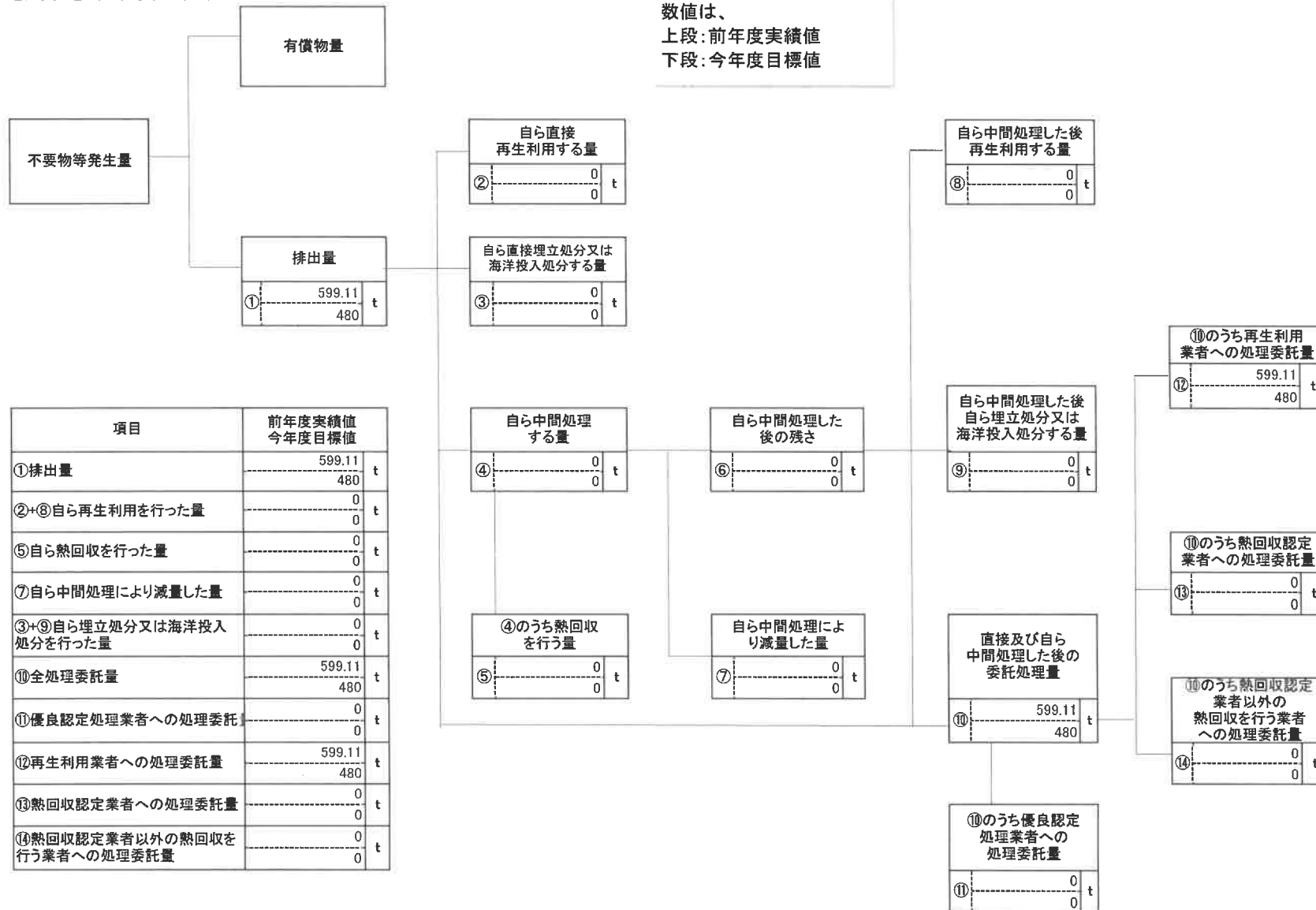
項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	2,070.90 3,000 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	2,070.90 3,000 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2,070.90 3,000 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0 t

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

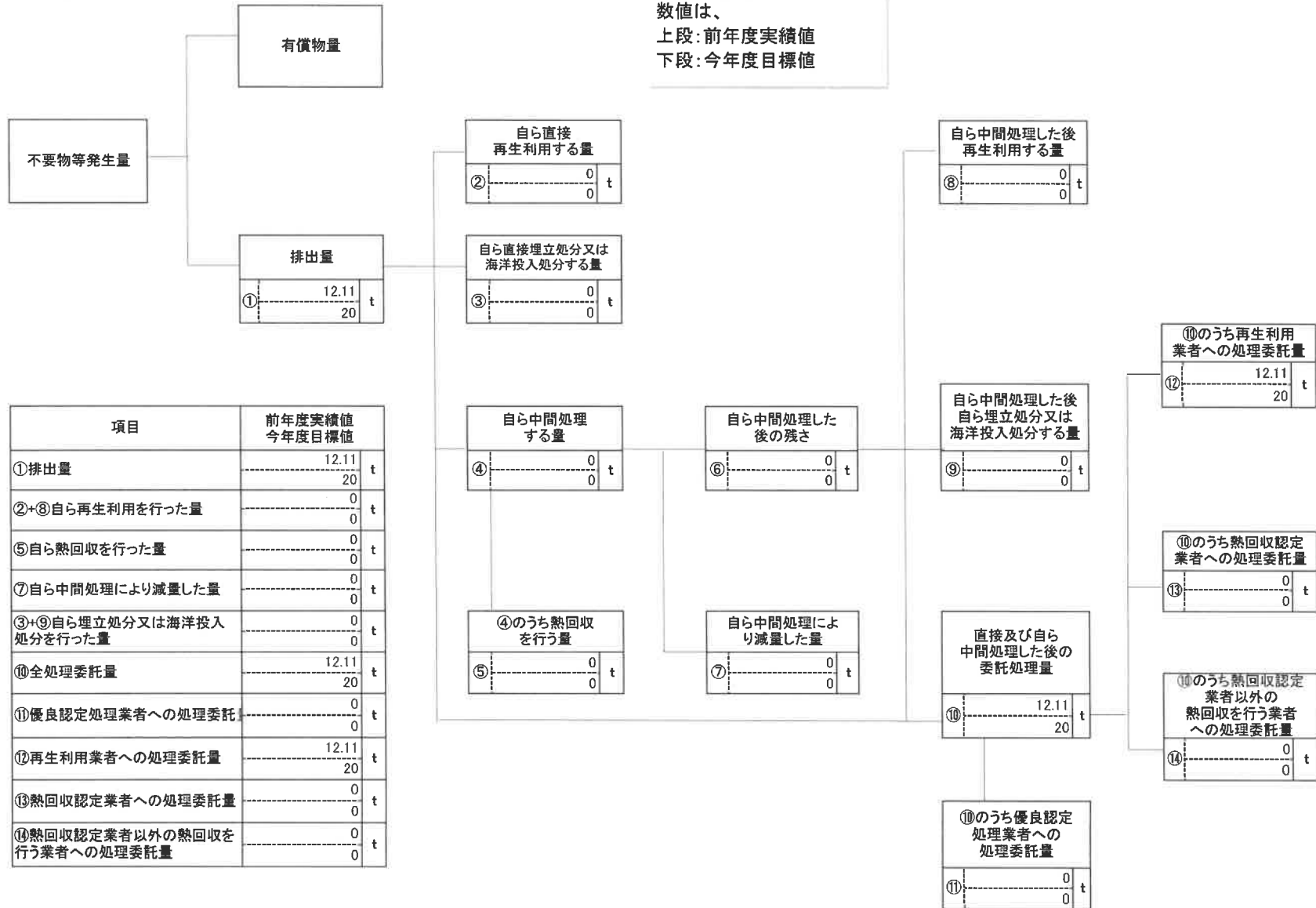


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

